

9月22日（金）石見銀山学習を行いました

本日、5、6年生が石見銀山学習を行いました。これは北三瓶小学校、志学小学校の高学年の交流学習の一つでもあります。石見銀山学習は、市内全部の学校で行われています。

私はとても大切な学習だと思っています。“世界遺産の石見銀山のことを知る”“わがふるさとのことを知る”ことを子どもの頃に学ぶことが重要な意義深いことだと思います。石見銀山の歴史を知ることは少し難しい内容かもしれませんが、いつか『子どもの頃に石見銀山の勉強をしたな』という思いをもつことが大切です。その様子を紹介します。



まずはパノラマを使って石見銀山とその周辺を説明されました。その後、石見銀山遺産センターを案内されました。



続いて、大久保間歩の中へ入らせてもらいました。残念ながら人数制限のため私は入ることができませんでした。カメラを6年生に渡して様子をとってもらいました。釜屋間歩も行きました。



町並み交流センターにて昼食後、学校を三校解体し4班に分かれてガイドさん付で大森の町並みを案内してもらいました。あまりの暑さに子どもたちは疲れていましたが最後までじっくりと話を聞いて学習していました。



一日歩きました。ごくろう
さまでした。(文責：校長)



石見銀山学習を終えて

石見銀山学習をしていちばん心にのこったところはまち歩きです。大森のまちなみがよく知れたし、昔の人のくらしが知れてよかったです。びっくりしたことは、大森のでんちゅうは地面の下にあることです。ふつうは地面の上にあるのでびっくりしました。初めて知ったことは、こう石1kgから銀は1gしかとれなかったことです。銀は1kgからいっぱいとれると思っていました。

また大森に行きたいです。(5年 ララさんより)

